

農地所有適格法人（株）スノー・フィード・サービス（千葉県館山市）



【生産概要】飼養頭数：預託ホルスタイン育成牛120頭、自社所有肥育牛33頭 飼料生産：トウモロコシ、ソルゴー、イタリアンライグラス、ヒエ、エンバク

所有農地（貸借）：3ha 農作業の労務受託：40ha

【経営概要】

コントラクター事業、農作業の労務受託、耕作放棄地の集約と効果的な活用、受託ほ場で栽培した飼料のサイレージ化等を実施。牛舎から回収した大量の糞尿を活用する循環酪農を目指している。また発酵飼料供給センター（TMR）では、コントラクターからサイレージを全量買い取り「完全混合飼料」を製造し、毎日発送している。

■事業のきっかけ

平成23年にコントラクター事業に参入し、平成26年に（株）雪印種苗と共にグループ会社として、農地所有適格法人（株）スノー・フィード・サービスを設立し、飼料生産と農地管理を行うことで畜産農家の負担軽減を実施している。

■主要事業

- ・当社はTMRセンターが主要事業であり、飼料メーカーや地元獣医師の協力のもと、平成21年より、TMR製造販売事業を行っている。素材となる飼料の大半が、コントラクター事業により収穫した自給飼料であるため、輸入飼料に比べて価格が安定している。

- ・酪農家は安定した経営ができる上、飼料調製や給餌にかかる労働力や時間も大きく削減することができている。
- ・飼料は酪農家の要望に合わせて最もフレッシュな状態で毎日配送しており、「粗飼料、濃厚飼料、ビタミン、ミネラル」など牛が必要とする栄養分が全て含まれ、牛が選り好みできないほどに細かく混合されているため「消化器系の疾病減少」「繁殖成績の向上」「質、量共に高い乳生産」といった結果が現れている。

- ・醤油粕、大麦ミール、大麦脱脂かす、サイレージ、大豆かす、ビート、稲わら等をTMRの原料に使用し完全混合飼料を製造している。

- ・飲料メーカーから麦茶製造過程で出る麦のかす、ラム酒製造過程で排出されるさとうきびの絞りかす（バガス）、クラフトビール製造過程で出る麦芽かす、ホップかすを各々工場等から引き取り、当社飼育牛の飼料原料として使用し、廃棄物の有効活用（食品ロス）に貢献している。

■今後取り組みたいこと（苦労している点又は工夫している点）

- ・契約酪農家から回収した排泄物等を堆肥化し、ほ場に施用して牛用飼料を生産している。
- ・堆肥販売許可を取得したため、今後、ペレット堆肥の製造を進めたいところであるが、圧縮・ペレット化にするための水分の調整が難しく製品化に向け試行中である。

